

伏原納知子さん（現姓 山極） 堺町画廊でコーヒーを

絵本作家 堺町画廊を主宰 （高24 昭和47年卒）3組



烏丸通から新風館北側の姉小路を東へ歩き堺町通を北に向かうとすぐに東側に堺町画廊が見えます。堺町画廊の町家は140年前の明治の初年頃に呉服屋として建てられました。先々代はここで医院を開業されていましたが、1982年の春に古い町家の趣を活かした画廊に生まれかわりました。

2001年春、通り庭の奥にあった細長い三和土(たたき)の土間を改装され、常設展示やミニライブ等のための「新スペース」としてオープンしました。ここはかつて台所で、内部は二階の大屋根まで吹き抜けになっていて、天窓の明かりに太い大黒柱と梁が浮かびあがる面白い空間となっています。2004年からは、この元台所が画廊展示室になりました。ギャラリースペースの変更を期に、企画、貸し画廊とも、個展から二人展程度の規模の展覧会を中心に発表の場を提供してきました。

お伺いしたときは、ちょうど、その台所だった展示室でカフェの準備をされており作品を眺めながらクッキーやコーヒーもいただけるようになるとのことでした。そこで、そのコーヒーを戴きながら話をお伺いすることにしました。(カフェは常時オープンされているわけではありません。イベントごとに変わります。)



高校から絵を勉強し 絵本作家に 画廊もオープン

高校時代は意外にも美術部ではなくワンダーフォーゲル部と弓道部に属していました。絵の勉強はされていたそうです。学園紛争真只中な上に、堀川は元々自由自律の校風があり、規則の厳しかった中学から行くと別世界で、自由のできる良さも悪さもあつた上で、学生生活を楽しまれたそうです。

同じ高校で、官僚になった人からヒッピーで生きた人まで、いろいろいたことが、その後の社会での生活にとって良かったし、役に立ったそうです。

卒業後、京都精華短期大学(現京都精華大学)に進学されグラフィックの勉強を継続されました。卒業後は染色会社に就職し着物の図案を作成しておられました。

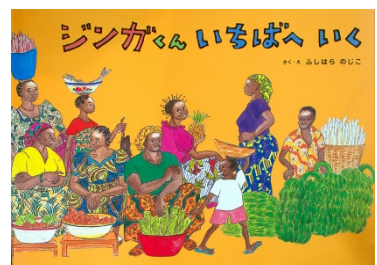
鳥が好きで鳥の絵を多く書かれていたこともあり、鳥の挿絵などの仕事が来るようにもなりました。ちなみ「のじこ」というお名前は、同様に鳥好きで京都野鳥の会会長でもあつたお父様が野鳥の名前からつけたものだそうです。その後その実力が認められ次第に絵本や挿絵の仕事も増えてきたため退社され絵本作家として独立されます。

その後、町家である自宅の維持のため、店の間を改装して貸し画廊にし、さまざまな作家の方に作品発表の場として使っていただけてきました。その後ご結婚され二人のお子様を授かります。

夫の研究で家族全員アフリカのコンゴへ



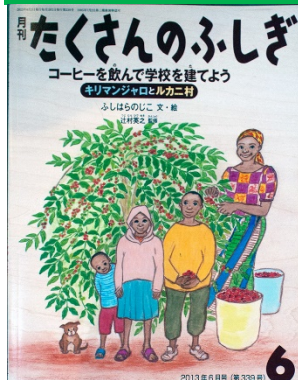
結婚したお相手のお仕事がゴリラなどの野生動物の研究だったため、1989年にお子様も連れてアフリカのコンゴ民主共和国(当時ザイール)へ渡航され地元で生活されることとなります。無論、家族全員マラリアに罹患するなど衛生面では大変なことも沢山ありました。しかし、アフリカの大自然や、そこに暮らす人たちとの交流も含めとても充実し楽しい生活だったそうです。91年に2回目の渡航をします。順調に現地での生活をまた始められたのですが暴動が勃発。それは突如断ち切られてしまいます。当てに出来るはずの大使館のある首都から遠く離れていたため国境を越え何とか隣国に命からがら逃げ込みました。家族全員無事日本に帰国することはできたのです。



が、かなり危険だったそうです。大変なお話なのですが、さらっと普通に語られるので、逆に芯の強さを感じてしまいます。何にも動ぜず貫く信念が優しい語り口の中に感じられるのです。

ふしはさんの絵本はアフリカの野生生物や現地の人たちの交流の中で見聞きした暮らしを紹介するものが多くあります。また、コーヒーをいくら栽培しても安く買いたたかれ搾取されている現地の人たちの多くの矛盾にも直面しました。そういった現地の方々を支援するため作品にするだけでなく現地の人たちを応援するフェアトレードコーヒー普及などの活動もされています。戴いたコーヒーも、そうやって日本に届けられたコーヒーなのです。

帰国後 再び京都で画廊を



帰国後、愛知県犬山市と京都を行き来する生活がしばらく続きましたが親御さんの介護もあり、今は実家である堺町画廊に居を構えておられます。無論画廊での活動は続いており今も多くの作家さん達を含めた多種多彩な展示を行い、情報発信をされています。娘さんもアーティストとなり一緒に活動もされています。

堀川時代の自由自律の精神を、そのまま今に生かして活動されている素敵な OB の方といえます。京都在住の方はもちろん、現在地方にお住みの OB の皆さんも上洛の折には是非、一度堺町画廊を訪れられることをお勧めします。また絵本を手にとってください。きっと、面白い発見があると思います。現在行われているイベントや展示会などは下記のサイトでご確認ください。

<http://sakaimachi-garow.com/blog/>

企画・取材・記録 村山(山本)敬子・大八木一寿

撮影・起稿・編集 河岸勝弘